



安心とつるおの「下町」川の手をめぐりて

防災 まちづくり瓦版

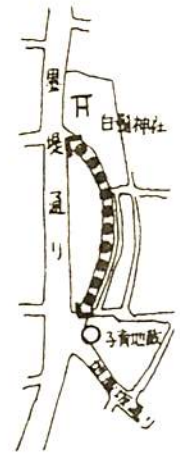
発行「一言問を防災のまちにする会」

平成2年6月1日



装いを新たにされた旧墨堤之道

ありし頃の白髭神社本殿
工事が完成する直前に、放火
によって焼けてしまいました。



住居跡は跡地葬のある大和湯の前
西川春潤・宇住信房跡

きゆう ぼく てい の みち 旧墨堤之道が装いを新たに

かつての墨堤の名残りととどめる唯一の道・旧墨堤之道が装いを新たにし、ご近所では「歩きやすくなった」「明るくなった」と、とても評判です。

一言会が旧墨堤之道の整備をご近所に提案したのは、今から三年前の夏のことでした。その後、ご近所の人たちと一言会の担当理事、墨田区の担当者の間で何度も会合を重ねてきました。時間はかかりましたが、その分みんなの思いを何らかの形で実現することができたかと思えます。



ポラード(車止め)

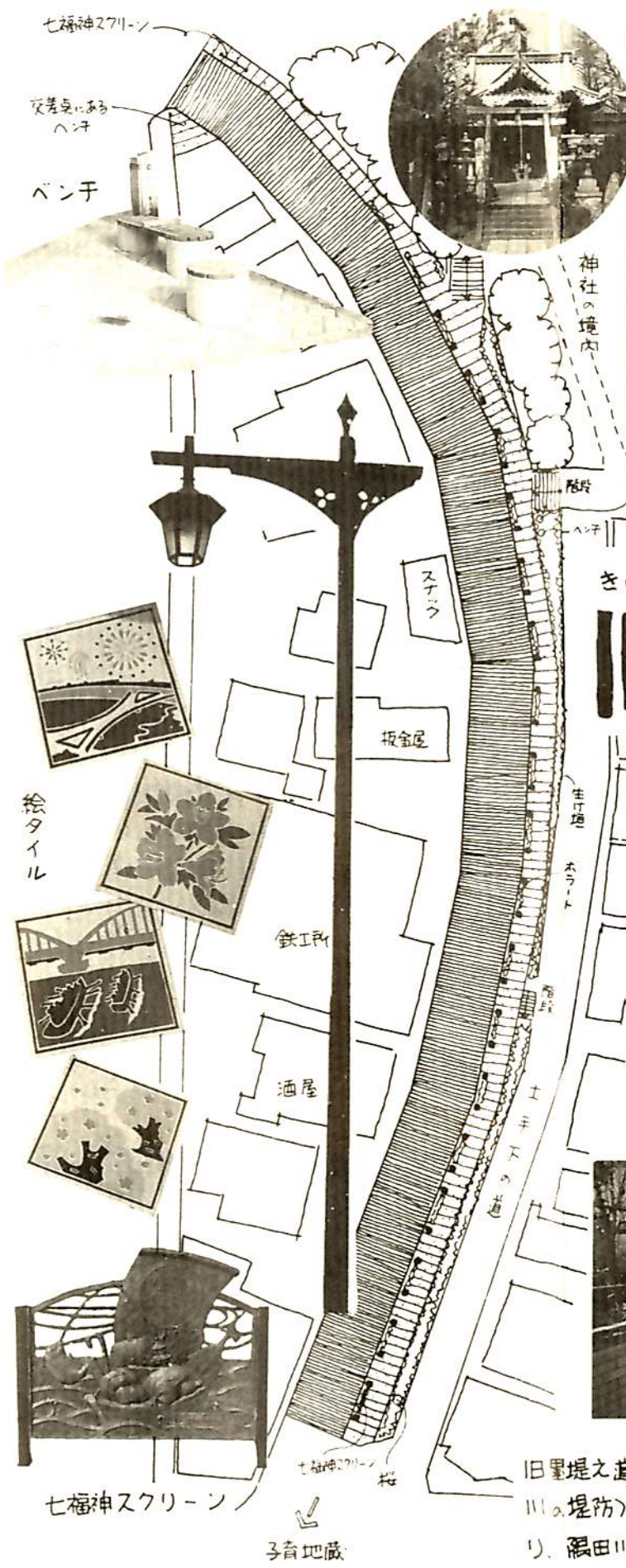


タイルで化粧した土手の壁



工事前の旧墨堤之道

旧墨堤之道は、桜で有名な墨堤(江戸時代の隅田川の堤防)の名残りを留める区内唯一のみちであり、隅田川七福神めぐりのルートにもなっている。



七福神スクリーン
子育て蔵

私がまちづくりスタッフです

その19

堤通一丁目

野中義頼さん
(一言会 副会長)



平成元年、堤通一丁目町会長になられた。故星野町会長に代わり、昭和61年から町会長代理をなさっていた。

出身は埼玉県。旧制中学を卒業、16才で志願して、小豆島の船舶特別幹部候補生隊に入隊。わずか4ヶ月で終戦。運送会社に経理で就職したが、部隊で覚えた運転技術が役立ち、大型トラックを乗りこした。

結婚し、この土地に住んで38年。お仕事の建築材料業も、そろそろ店じまいしようかと考えられている。

「ここに住んでよかったと思えるまちにしたいですね。」日焼けされた頬が、ゆっくり言葉を選んで話して下さる。

「旧墨堤之道も時間がかかりましたね、住民と話し合い、住民に喜ばれる道に整備されて良かったですよ。」

硬かった表情が大きな笑みが変わった。町会長として、胸のうちに思うことがあったに違いない。ほっとした笑顔は印象的でした。(純)

いちもんじ 一言会
一言言問 / 防災まちづくり瓦版
第21号 平成2年6月1日発行
編集 / 一言言問を防災のまちにする会・編集局
高原純子・若木菊枝・木田茂男・木田文代
編集協力 / マヌ都市建築研究所
発行 / 一言言問を防災のまちにする会・事務局
墨田区都市整備部開発促進課内
〒130 墨田区横綱1-6-1 tel.(03)3151



面目を一新した「旧墨堤之道」

墨田区東向島三丁目「旧墨堤之道」が、住民の意見を採り入れて整備され、面目を一新した。
この道は、幹線道路の墨堤通りに沿って、白鬚神社から地藏坂通りに至る延長百六十メートルの区道。江戸時代からの隅田川の土手の道として、現墨堤通りが出来たまではメインストリートだった。白鬚神社の参道にもあたると。

歩道広げカラー舗装 ガス灯やベンチ設置

○「五好広げ」で、カラー舗装化、車道(二方面)通行幅は八分のままで、ガードレールを撤去し、代わりに車止めの「ボラード」を設けた。また、ガス灯、寺書問を防災のまちにするの照明灯六基、ベンチ四基も設置された。

さらに、同神社が、隅田川の道(「くまのり」として事業を進められた。同会では、昭和六十二年の秋から会合や視察を重ねた。「近くの向島百花園のイメージも採り入れよう」「墨堤通りらしく、桜があればな」「白鬚神社の参道らしく」などと議論は白熱。区の担当者が「今までにそういう例がないから」とタジタジとなるほど、住民側は積極的だったという。

同会の徳永暢男さん(五好)は「白鬚東地区防災拠点への避難路にもあたり、万一に備え、ふだんから親しみのある道に整備されて何より」と話しており、来月中旬にも、同会が完成記念式を開く予定だ。

「旧墨堤之道」風情豊かに

読者新聞
4月19日(木)朝刊

白鬚神社の参道



これからの維持管理をどうする!?

5月24日の夜、沿道の人々をはじめ、工事にたずさわった墨田区の担当者も参加して、ささやかな完成祝賀会を開きました。当初はテフカットや渡り梁めといったイベントを考えていたが、ご承知のように白鬚神社が焼けてしまったため、「あまりはたかことをするのよくないだろう」という判断から、残念ながら関係者だけの慰労会になりました。

話題は、これからの維持管理の方法に集まりました。「まずはひとりひとりが家の前を手入れすることから始めたらどうか」「専門家に教えてもらいながら、みんなで行け垣の剪定をしたらどうか」「問題が発生した時のために、住民と行政がそれぞれ窓口を一本化したらどうか」など、たくさん意見が出ました。みんなが自主的に片づけ張りすに楽しくできるといいですね!

お見付きですか? 旧墨堤之道の桜



子育地藏の入口に墨堤の桜再生のシンボルという意味を込めて桜が植えられています。豆桜といって文字通り小さな桜ですが、虫のつきにくい丈夫な桜だそうです。お隣りはスリムになった電柱。大きくなると電柱よりも細いかな!?

言問小の前の道路が広がった



防災活動拠点になっている言問小の正門側の生け垣が枝倒れにさかり、その分道路が広くなりました。

有季園の生け垣の剪定会 6月16日



向島五丁目の防災小緑地「向島有季園」が、新緑の緑で包まれています。昨年は虫がついて大変悩まされました。今年は昨年の経験を生かして育てているようです。6月16日(土)には、利用者が集まり、墨田区の緑化係の専門家といっしょに、みんなで行け垣のせん定をする予定です。



あいさつをする
奥山澄雄区長

「本日は大変お忙しい中おいでいただきありがとうございます。恐らくこうした防災まちづくり集会がこうした形で開催されるのは、私は全国で初めてではないかと思ひます。それだけに地域の皆様方や会に参加した各地域の防災まちづくりに参画している皆様方に熱く敬意を表すると同時に、平素の防災まちづくり活動に対して、心より御礼申し上げます。

私どもはこれまでいろいろな面において施策を実施しております。特にこの一帯言問地区のまちづくりは皆様方と協議しながら活動を展開しております。ここでの成果を皆様それぞれが参考にして頂き、これからの墨田区のまちづくり、東京のまちづくりに大いに貢献していただきたいと考えています。」



●13のまちづくり住民団体の代表選手がテーブルを囲む



三月三日、曳舟文化センターにおいて約二五〇名の参加者を集めて、「防災まちづくり集会・すみだ」実行委員会（委員長・則武勝尚一言会会長）が開催されました。

防災まちづくり集会

主催／「防災まちづくり集会・すみだ」実行委員会

後援／墨田区 東京都

「すみだ」集会



●熱心にパネルを眺める参加者

一言会と同じように住民主体のまちづくりをすすめている団体が初めて一同に会しました。

会場は大きく二つに分かれ、A会場では「東京の防災まちづくりについて」と題したテーブルディスカッションがなされました。実行委員会参加団体からそれぞれ選ばれた話し手が、会場中央に置かれた大きなテーブルを囲んで、自分たちのまちづくり活動を紹介しながら、現在直面している問題を出し合うという企画。テーブルに着いた話し手の後ろに、

自名を超える関係者がすわり、一種独特な緊張感に包まれて討論が始まりました。お国自慢ならぬ、まちづくり自慢の発言の中にも、思うようにまちづくりが進まない悩みや苦労が卒直に披露されました。

「まちづくりのすすめ方が、住民がわかっている」と同時に、行政側もわかっている。コンサルタントが付いているにもかかわらず、その人たかもなかなか考察できない（豊島区住民）

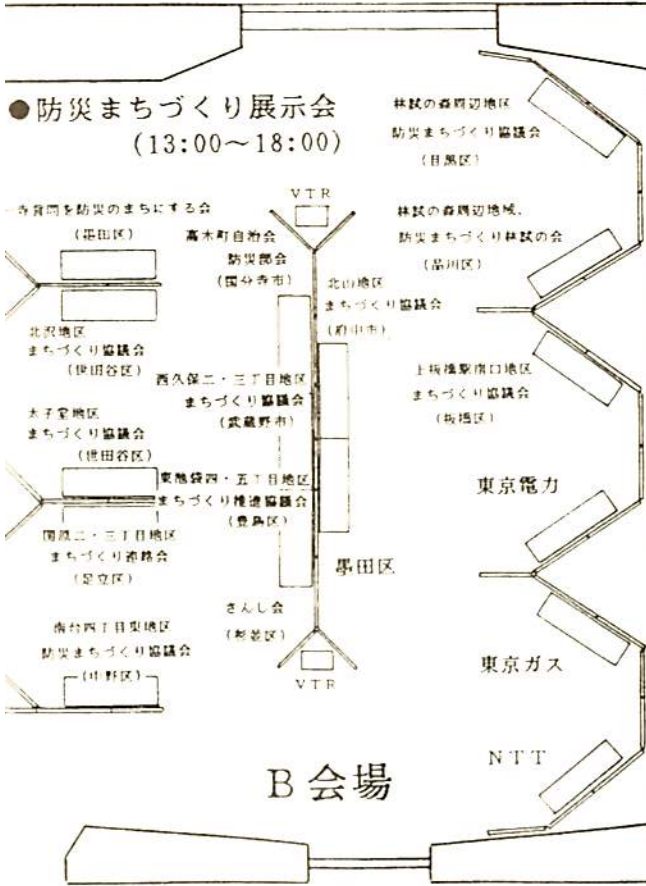


●活発な討論がおこなわれたテーブルディスカッション

といった大変厳しい意見も次々と飛び出しました。瓦版で紹介できないのがとても残念です。もし興味のある方は、近いうちに記録集ができますので、一言会事務局までご連絡下さい。

B会場では、各団体のまちづくりを紹介した展示会が開かれました。東京の防災まちづくりのメッセ（見本市）といった言い過ぎでしょうか。あちらこちらで、まちづくりの議論が終日繰り広げられました。

▲会場案内図（一部）



●ナールを飾った「慶常太鼓」の演奏



●パネルの説明

●パノラマの撮影



●交流のひととき



一源商店 (平成元年5月)

今年の春、生垣のサザンカがたくさん咲きました。垣根が長いので赤い花が斑々と咲き出すと見事でした。終わった後、花がらをとるのが大変ですけどね。今年、家を建て替えて、庭を整理しますので、もっと生垣が映えると思います。

緑

堤通一丁目
ぞくぞくと緑化協定が結ばれる

(取材: 高原純子)

あかつき学園
(平成2年3月)
三浦陽典園長



園庭の周囲をぐるりと緑化して、新築したモダンな園舎に緑が映えます。三浦陽典園長にお話を伺いました。
「子供たちが季節を感じる環境がどんどん少なくなっているでしょう。住宅地でも緑がない。建て替えましたので、園庭はどうしようかなと考えていました。一源さんの生垣を見ていたので、墨田区の方に声をかけられ、すぐ緑化協定の話が決まりました。
四季折り折りに花の咲く樹木を植えました。野鳥も四種くらい来るようになって、えさ台も作りました。情操教育にはとても良いと思いますよ。総工費300万円、3分の2を助成してもらいました。」

タツノ化学 (平成2年3月)

ブロック塀が古くなったので、思いきって緑化しました。車の往来が激しい墨堤通りに面していて、緑の少ないところなので、評判がいいですよ。以前から植えてあったカイズカイフキの古いものを整理したり、手をいれて、足元にサツキを植えました。明るくな、た感じですね。

ル寺島貯場場



準備



●一言会の展示コーナー

開催にあたっては、会場の設営をはじめ、お茶のサービスマンなど地元の皆さんには大変お世話になりました。この場を借りて、熱く御礼申し上げます。
他区から参加した人たちは、一寺言問地区の住民パワーにとてもビックリしたそうです。圧巻だったのはフィナーレを飾った慶常太鼓の響き。感動のあまり一言会の則武会長まで思わず涙ぐんだとか!?



●パネル展示の準備風景



●地元協力のお茶サービス



●受付を担当した瓦版編集局



●司会進行と打ち合わせる一言会理事

発表

一言会は、これまでのまちづくり活動の経過と路地尊や有季園などまちづくりの成果をパネルにして展示しました。その他テーブルディスカッションで一寺言問地区の代表を務めた徳永さんが製作した路地尊の模型を会場各所に展示しました。特に会場入口に置いた実物大の模型は本物としてそのまま街中に置けるほど精巧にできていて、参加者の目を奪いました。



桜 金木犀 山彦花 椿 白木蓮 つつじ 花木木

これはあかつき学園に植えられた花の咲く樹木です